

地名が収載されている。本文の会話文には、

Ik zal u al mijn leven beminnen.

我 アロウ五 汝二 一生三 カワユガル四

といった具合に、各単語に意味と番号をつけ、その番号順に読むことでオランダ語の構文が分かる仕組みとなっている。

日本語を本格的に横書きにして示し用いることは、まだまだであった。ずっと後の幕末から明治期へと移行していく西洋文明と日本人が直接出会う時代である。

だが、横書き表記法が古い日本になかったわけではない。鎌倉時代に造られた奈良寺院の瓦文字を見ると、「東大寺大佛殿瓦」(中央から右左と右左に訓み、左に移行していく)や「薬師寺東院弘安辛巳」(中央から右左と右左と訓む)に至っては、この手法が用いられた尤も古い実例だと認識している。

※前原平三郎 異体文字 地域相研究 1-16-17 1977.4 地域相研究会
奈良県法隆寺中世瓦文字



横書き資料でいえば、夏目漱石の大学時代のノート「美学の起源」筆記断片(東北大学附属図書館蔵が屋名池誠(やないけまこと)著『横書き登場—日本語表記の近代』岩波新書・2003.11で、漱石の学生時代の受講ノート「美学の起源」掲載があつて確認できる。漱石が明治二五年、帝国大学文科大学英语科三年次の必修科目の講義ノートと云われている。この講義者が西洋人教師であつたことも横書きを助長する要因となつていた。

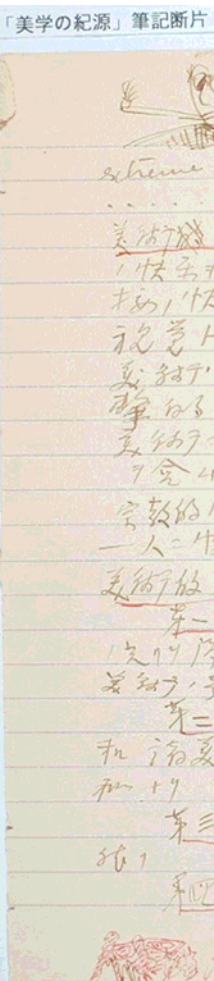
<http://www2.library.tohoku.ac.jp/seoki/images/img7-22.pdf>

また、明治時代には、縦書きが途絶えることはないのだが、郵便切手及び貨幣の文字などにもその影響が現れてくることも見逃せない。横書きが大いに利用されていく要因としては、効率性と合理性を上げねばなるまい。

一九五一年、国語審議会建議「公文書の左横書きについて」→「本市文書の左横書き実施要領」

http://www2.city.kitamoto.saitama.jp/reiki/int/reiki_honbun/e3340074

001.html#topを参照。などへと発展してきた。



「美学の起源」筆記断片

学校教科書などでは、理数系の教科書類が横書きを採用したのが、尤も早い教科書の一つであろう。では、肝心の国語の教科書では如何なものだったのかについては、それぞれが探ってみることもよからう。大衆の娯楽を主とした雑誌類の記事・小説の文章・マンガの吹き出しのせりふなどが、なぜ、横書きに変貌しにくいのかということを考察して見ておいてほしいところである。

最後に、電子媒体での入力作業の多くが横書きを増加させたことも否めないが、平成十七年(二〇〇五)に、ジャストシステムから発売された日本語入力ソフト「文藝」は、縦書き入力を目的として、こだわりの世界で誕生した極めつけの日本語入力ソフトであった。

※「一太郎・文藝」

<http://www.ichitaro.com/bungei/>

プロの作家も認める究極の文芸作品作成ソフト「一太郎 文藝」二〇〇五年九月二十二日登場！

《コラム》ソフト「一太郎」を知る

<http://ja.wikipedia.org/wiki/%E4%B8%80%E5%A4%A%E9%83%8E>

《コラム1》サムライの世相と品位を表すことば

たとえば、武士階級のばあい、武家の妻は三千石以上のばあいかぎつて「奥方」と呼ばれ、それ以下は「御新造」、三百石以下であれば「御」をとつて、ただ「新造」と呼ばれていた。ことばの指示対象は武家の妻女ということであつて、意味はおなじなのだが、主人の禄高によつて呼称法が厳密に区別されていたのである。「加藤秀俊著「世相とことば」発行年月：一九七六年、掲載『社会の中の日本語』日本語講座第三巻、発行元：大修館書店より」

《コラム2》

かわいいかくれんぼ

サトウハチロー 作詞

中田 喜直 作曲

ひよこがね

お庭でぴよこぴよこかくれんぼ

どんなにじょうずに かくれても

黄色いあんよが 見えてるよ

だんだん だれが めっかった

かわいいかくれんぼ

サトウハチロー 作詞

中田 喜直 作曲

ひよこがね

お庭でぴよこぴよこかくれんぼ

どんなにじょうずに かくれても

黄色いあんよが 見えてるよ

だんだん だれが めっかった